

ひかり

日本聖公会三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕1912年(大正元年)11月2日

2014年 2 月号

第623号



Canterbury Cross
カンタベリークロス

「これは万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの誉れです。」父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いていた。
(ルカによる福音書第2章31-33節)

「原点想起」

去る1月19日、三光教会を会場に、キリスト教一致祈禱週間を覚えての、日本キリスト教協議会に加盟するプロテスタント諸教派と日本カトリック教会との合同礼拝が守られました。当日は、教派を超えて、約180名の仲間たちが集まり喜びに満ちた豊かな礼拝が献げられました。

この礼拝での説教は、カトリック東京大司教区・補佐司教である、幸田司教が務められました。「一致の原点イエス・キリスト」と題された説教の中で、幸田司教は、キリスト教一致の根本にあるのは人びとの救いのために、すべての人を神のもとへ、永遠の故郷へと連れ帰るために、ご自分のすべてを投げ出し、ご自分のいのちを与え尽した、このイエスのもとに立ち返ること、イエスの生きた謙遜に少しでも近づき、イエスの生きた柔和さに少しでもあずかろうとする、それがわたしたちの一致の原点だと強調されました。

わたしたちはキリストの謙遜について、柔和さについて語る、その使命を委ねられています。キリストに立ち帰ること、キリストに

司祭 ニコラス 中川英樹

結ばれ生きる者にとつての原点とは、このキリスト・イエスの生きた謙遜と柔和さを本気で「生きていく」ということです。

今の時代、「人生の手本」となる人の姿が、わたしたちの身近な生活の中に見られなくなったといわれます。しかし、イエスとの出会いを通して、人生を歩む「意味」やその人生を涉っていく「力」や、たとえ破れ傷つき、打ち拉がれても、立ち上がる「情熱」であるとか、そういう、人生の感動を、手本を、必ず見つけるコトができる、わたしたちは、そういう「気迫」に満ちた使命を、本気で担うことを求められていると改めておもうのです。

わたしたちの語る言葉のうちに、キリストの愛が宿りますように。わたしたちの想いのうちに、キリストの優しさが示されますように。わたしたちの行いのうちに、キリストの温かさが伴いますように。そうやって、日々出会う人びとの中を、キリストのように歩み、生きる「わたし」でありたいと心の底からおもいます。

2月・3月の予定

◆2月	9日(日)	顕現後第5主日
	11日(火)	日本聖公会組織成立記念日
◆3月	14日(金)	キリスト教いろは学⑨
	16日(日)	顕現後第6主日
	18日(火)	聖書に学ぶ会(新約)
	21日(金)	聖書に学ぶ会(新約)
	23日(日)	顕現後第7主日
	24日(月)	使徒聖マツテヤ日
	25日(火)	聖書に学ぶ会(旧約)
	28日(金)	キリスト教いろは学⑩
	1日(土)	主教デイビッド
	2日(日)	大斎節前主日
	3日(月)	3月逝去者記念聖餐式
	4日(火)	聖書に学ぶ会(新約)
	5日(水)	大斎始日(灰の水曜日)
	7日(金)	殉教者パペチュアと仲間たち
		十字架の道行き
	9日(日)	聖書に学ぶ会(新約)
	11日(火)	大斎節第1主日
	12日(水)	聖書に学ぶ会(旧約)
	14日(金)	主教教会博士グレゴリー
	16日(日)	十字架の道行き
		キリスト教いろは学⑤
		大斎節第2主日

毎月第3主日

男子会、婦人会、青年会に先立て
「み言葉の分かち合い」

教会の一年は「主イエスの命名」

を祝うことから始まります。イエスという名はヘブライ語で「ヨシユア」、「神は救い」という意味です。わたしたちのキリストは、その「名」の通り生き、神のみ救いのみが「まことの救い」であって、その救いは、いつもわたしたちと共に在ることを示されました。

詩篇34編はこう歌っています。

どのようなときも、

わたしは主をたたえ

わたしの口は絶えることなく

賛美を歌う。

わたしの魂は主を賛美する。

貧しい人よ、それを聞いて喜び祝え。

わたしと共に主をたたえよ。

ひとつになって御名をあがめよう。

幸せであるときも、朗らかであるときも、憂いに沈むときも、人生のすべてに行き詰まったとしても、わたしたちは、神のみ名をあがめる幸いにつながっています。この年の始まりに、わたしたちは、「一つとなってみ名をあがめよう」

この聖句を心に覚えたいとおもいます。

わたしたち三光教会がいつも神への賛美の歌に満ちた、信仰の共同体として、歩んでいくことを心から祈り、願います。

婦人会だより 1月

1月26日 61名出席

2014年度の総会と新年会は、中川司祭のお祈りと挨拶をもって開会し、橋本伝道師の食前感謝で食事が始まりました。食事の後、活動報告、会計報告、新旧役員紹介、ケーキグループの活動報告があり、それぞれ承認されました。続いて、高橋司祭から近況の報告、また小笠原司祭からの挨拶(代読)がありました。その後、頭と身体を使つてのゲームを楽しみ、ビンゴ大会では、当たった順に当日に持ち寄ったプレゼントが渡されていきました。(記・西川式子)

男子会だより 1月

1月19日 16名出席

・今年度の男子会行事予定の大枠を決定。
・水谷満兄が入会されたので連絡

網に追加したものを配布。

・会計報告

例会后、キリスト教一致祈禱週間東京集会の礼拝に参加し、夕方より、旗の台駅前の「いいい寿司」で新年会を催す。出席者は中川司祭を含め19名。ご馳走を頂きながら談論風発。「昨年の反省と今年の抱負」と題して各自発表し、楽しい雰囲気の中で信仰と友情を確かめ合った。(記・柳原仁哉)

青年会だより 1月

1月19日 6名出席

・今年の活動については、協働関係にあるフィリピン聖ステパノ教会の方々の訪問が2015年と迫っているので、課題をもって取り組む予定。

・ジョン・ベイリー「朝の祈り、夜の祈り」を会の最初と最後に朗読することにした。

・課外活動については、昨年、エリザベスサンダースホーム(澤田美喜記念館)を見学したが、今年も学びを深められるような企画を考えたい。例えば、草津はSPG(英国聖公会福音宣教協会)のコン・ウォール・リー宣教師が20世

紀初頭にハンセン病患者救済のために尽力した土地なので、草津聖バルナバ教会を訪問するのはどうか?近場では三光教会の足跡を辿るのに、白金三光町はどうか?また、子どもを中心としたアウトドアキャンプを計画中。こちらは、ボーイスカウトのような体験ができないか検討している。

(記・藤田誠)

フィリピン協働だより

三光教会と聖ステパノ教会との協働活動は今年で7年目に入りました。昨年は例年通り3万円の献金と、11月7日の台風30号による中部フィリピンの災害復興支援として、11月24日の食事サービスの収益金2万2千円を三光教会から送金していただきました。

来年は、ステパノ教会から2名を招聘する予定で、その人選と希望の訪問時期を問い合わせ中であります。その回答を待つて当方の受け入れ準備を進める予定です。

毎月第1日曜日の月例会議と、年2回の昼食準備は本年も実行いたします。本プロジェクトの推進に当たり皆様方からのご意見を頂

戴致したく思っていますので、何なりとお申しつけ下さるようお願い致します。
(記・柳原仁哉)

講演

『キリスト者として』

原発をどう考えるか』を聴いて

東京教区の正義と平和協議会は、日本福音ルーテル稔台教会の内藤新吾牧師を講師に招き、表記の講演会を、昨年12月14日に教区会館にて開催しました。内藤牧師は、原発被曝労働を繰り返した日雇い労働者が置かれた非道な実態に接して、20年以上も前から原発の運動に関わってこられました。内藤新吾牧師の著書『キリスト者として“原発”をどう考えるか』(いのちのことば社、2012年3月刊)を既に購読していただいたので、是非とも生(なま)のお話を聴きたいと思い、講演会に出席した次第です。

内藤牧師は、多数のスライドおよび配布資料を使いながら、原発が抱える様々な問題について、1時間半にわたり丁寧に講演してくださいました。原発の安全神話が崩壊したことで、核燃料サイクルが破綻している

こと、使用済み燃料(核のゴミ)処理が困難であること、などの問題の解説に留まらず、地中深く収まっていた放射性物質(ウラン)を採掘したこと自体が間違いの始まりであること、原発は無用な投下であったこと、内部被曝の影響を無視し隠蔽したこと、日本政府は原子力政策の中で核武装を考えてきたことなど、原子力の深層に関わる問題を詳しく解説されました。原発が経済のための単なる発電装置ではなく、核兵器と表裏一体となっている実態を指摘し、安倍政権がトルコへ原発を輸出することは、中東の混乱に拍車をかけ、死の商人の役割を果たしていると糾弾しました。

また、内藤牧師は、原発問題は政治的・社会的な問題であるので教会内では話題にしたくないと考えている信徒が多いことを嘆いています。上述の著書の中では、「苦しむ民の声を聞き、その苦しみから救い出したのが主イエスではなかったのか?」と問いかけて、主イエスの弟子となることを自ら実践している姿には感銘を受けました。(記・安次嶺昭男)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時からお昼までご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

- ・礼拝様式に馴れない方は、礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。
- ・礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるもので、金額は自由です。
- ・その他、わからない点は隣の席の方か入口の案内係におたずねください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式